



**アース製薬**

# アース製薬の健康経営®について

---

従業員と家族の健康を推進する委員会

2024/10/1

# トップの健康経営に対するメッセージ



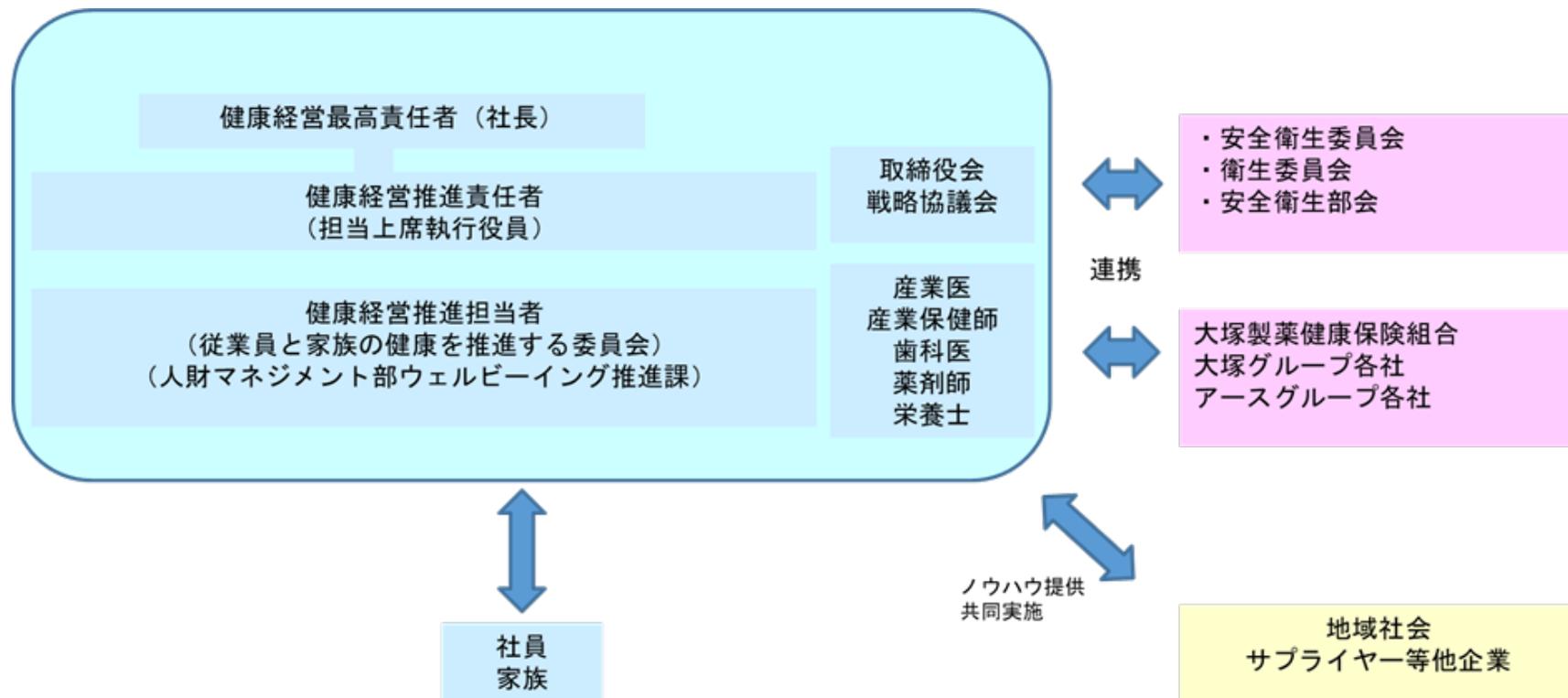
## 従業員が健康でなければ、企業に未来はない

人生100年時代、「寿命が100歳前後まで、今後伸びていくにあたり、国・組織・個人がライフコースの見直し」を迫られています。高齢化社会になり、少子化が進み、結果として労働生産人口が減少するという予測です。アース製薬の未来を考えたときに、従業員とその家族が1日でも長く健康でいていただくためには今後何が必要かを考え、「健康経営」への取り組みを開始しました。組織・個人がより良い未来を築けるように、共に取り組みを進めております。

代表取締役社長CEO

川端 克宜

# アース製薬の健康管理体制



- 代表取締役社長を最高責任者、担当上席執行役員を推進責任者とし、拠点責任者および推進者、健康経営及び産業保健活動を担う委員会、産業医と保健師が参加する衛生委員会など全社一体となって従業員及びその家族の健康を維持・増進する取り組みを推進しています。
- 健康経営の更なる推進を目指し、経営層との連携強化や従業員の主体的な健康増進への取り組みを喚起しています。
- 2022年10月には管理本部 人財マネジメント部にウェルビーイング推進課を新設。従業員が心身・社会的に健康な状態を継続し輝いて働き続けることができるよう、更なるWell-beingを推進します。

# 現状の健康課題の把握と対策



- ・従業員**の健康課題を把握するため、健康調査を毎年実施し、対応施策を実施。**
- ・**当社の現状として、健康関連指標について全国平均値や各省庁が掲げている目標値に達していない項目があるため、健康調査結果や実際の従業員の声からも課題や改善の必要がある項目やテーマを抽出の上、実践。**

# 健康経営のKPIと健康指標のアウトカム目標



KPI	2021年度	2022年度	2025年度 目標	2026/2030年度 目標 (中期経営計画との連動のため)
定期健康診断 有所見率 (アース基準:レッドカードor イエローカード発行者率)	33.9% (BMI高値含 め51.0%)	34.5% (BMI高値含 め42.7%)	*アース基準にて 30%	<b>*アース基準にて 30%</b> 2030年まで30%以下を継続
プレゼンティーズムによる 生産性損失割合	17.5%	19.2%	18%	<b>18%</b> 2030年まで18%以下を継続

【KPI、目標設定の根拠】  
目標値は同業他社やグループ  
企業平均値、各省庁が掲げて  
いる目標値等を参考に設定

## 実施目標

- ヘルスリテラシー向上のため各種セミナーや情報発信の実施  
各施策毎に理解度 or 満足度を測定 : 5段階評価で4pt以上
- CCHLの測定 各スコア : 3.5以上
- UWESの測定 没頭 : 3.0以上 熱意 : 3.5以上 活力 : 3.0以上

\*アース基準 (独自の健診判定) : 健診判定は使用せず、要精密検査～要治療レベルを「レッドガード」「イエローカード」と分けし独自の判定基準を設定

# 各健康指標のアウトカム、実績値・目標値



項目	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2026年度 目標値
定期健康診断受診率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
アース基準での受診勧奨率※1	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
カード発行者再検査受診率※1	%	32.0	81.2	78.4	85.2	85
喫煙率	%	—	22.2	22.3	21.1	17
適正体重維持者率	%	67.0	68.2	68.9	69.2	70
運動習慣者比率※2	%	24.0	24.6	25.9	26.6	30
睡眠により十分な休息がとれている人の割合	%	63.9	67.0	66.7	64.8	68
ストレスチェック 高ストレス者割合	%	—	15	12.9	13.5	12
ストレスチェック 総合健康リスク値	点	92	93	92	94	92
女性の子宮頸がん検診受診率	%	—	—	—	57.7	60
女性の乳がん検診受診率	%	—	—	—	58.4	60

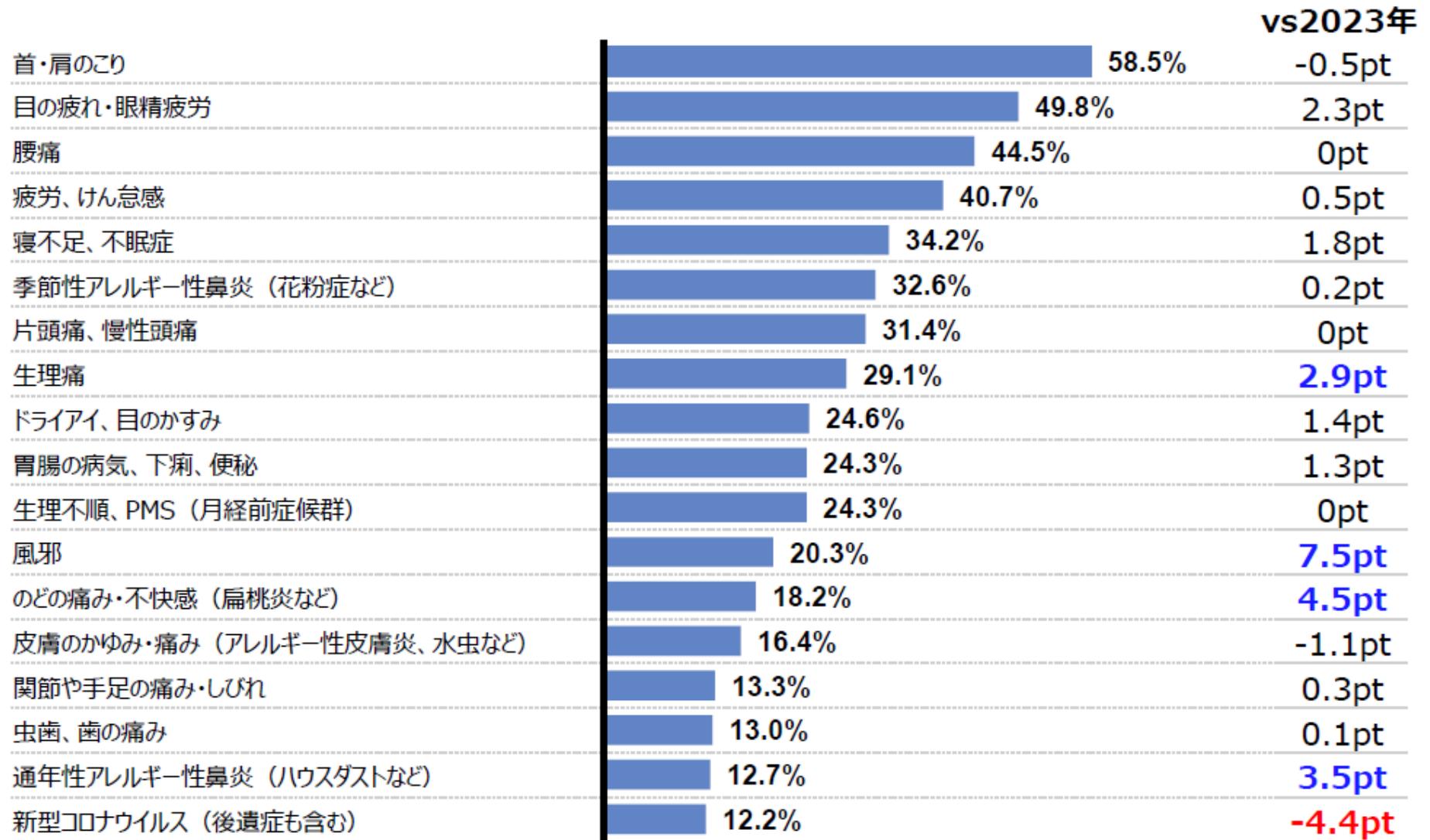
※1 アース基準「レッドガード」「イエローカード」対象者（要精密検査～要治療レベル）

※2 1週間に2回、1回当たり30分以上の運動を実施している者の割合

# 健康調査の実施

調査対象	アース製薬の全社員 (取締役、監査役、顧問、退職者、短期アルバイトを除く)
調査項目	<ul style="list-style-type: none"><li>・健康上の問題、不安度、日常行動</li><li>・プレゼンティーイズム、アブセンティーイズムによる生産性の低下度合い</li><li>・健康診断（人間ドック）の検査結果を踏まえての行動</li><li>・喫煙状況</li><li>・被扶養者の健診受診について</li><li>・UWES、CCHL</li><li>・健保施策等の認知状況</li></ul>
調査手法	Webアンケート
回答率	全従業員の91.3%
調査期間	2024年4月

# 健康上問題があったものとその割合（上位）



# プレゼンティズムによる生産性損失割合



QQ-methodを用いて測定

プレゼンティズムによる生産性損失割合：合計19.50%→**19.49%**（今年）

健康上の問題があった人の割合

首・肩のこり	2.41%	(-0.04pt)	58.5%
目の疲れ・眼精疲労	2.04%	(-0.03pt)	49.8%
寝不足、不眠症	1.92%	<b>(0.26pt)</b>	34.2%
疲労、けん怠感	1.90%	<b>(-0.19pt)</b>	40.7%
腰痛	1.75%	(0.03pt)	44.5%
生理痛	1.23%	(-0.04pt)	29.1%**
片頭痛、慢性頭痛	1.17%	(0.04pt)	31.4%
ドライアイ、目のかすみ	1.14%	<b>(0.15pt)</b>	24.6%
生理不順、PMS（月経前症候群）	1.02%	(-0.14pt)	24.3%**
季節性アレルギー性鼻炎（花粉症など）	0.95%	<b>(-0.14pt)</b>	32.6%
胃腸の病気、下痢、便秘	0.65%	(0.02pt)	24.3%
うつ病、メンタル不調	0.59%	(-0.11pt)	8.7%
通年性アレルギー性鼻炎（ハウスダストなど）	0.47%	(0.03pt)	12.7%
関節や手足の痛み・しびれ	0.44%	(-0.07pt)	13.3%
皮膚のかゆみ・痛み（アレルギー性皮膚炎、水虫など）	0.36%	(-0.06pt)	16.4%
のどの痛み・不快感（扁桃炎など）	0.34%	(0.11pt)	18.2%
風邪	0.32%	<b>(0.14pt)</b>	20.3%
新型コロナウイルス（後遺症も含む）	0.22%	(-0.12pt)	12.2%

※ 0.2%以上の項目

# アブセンティズムによる生産性損失割合



QQ-methodを用いて測定

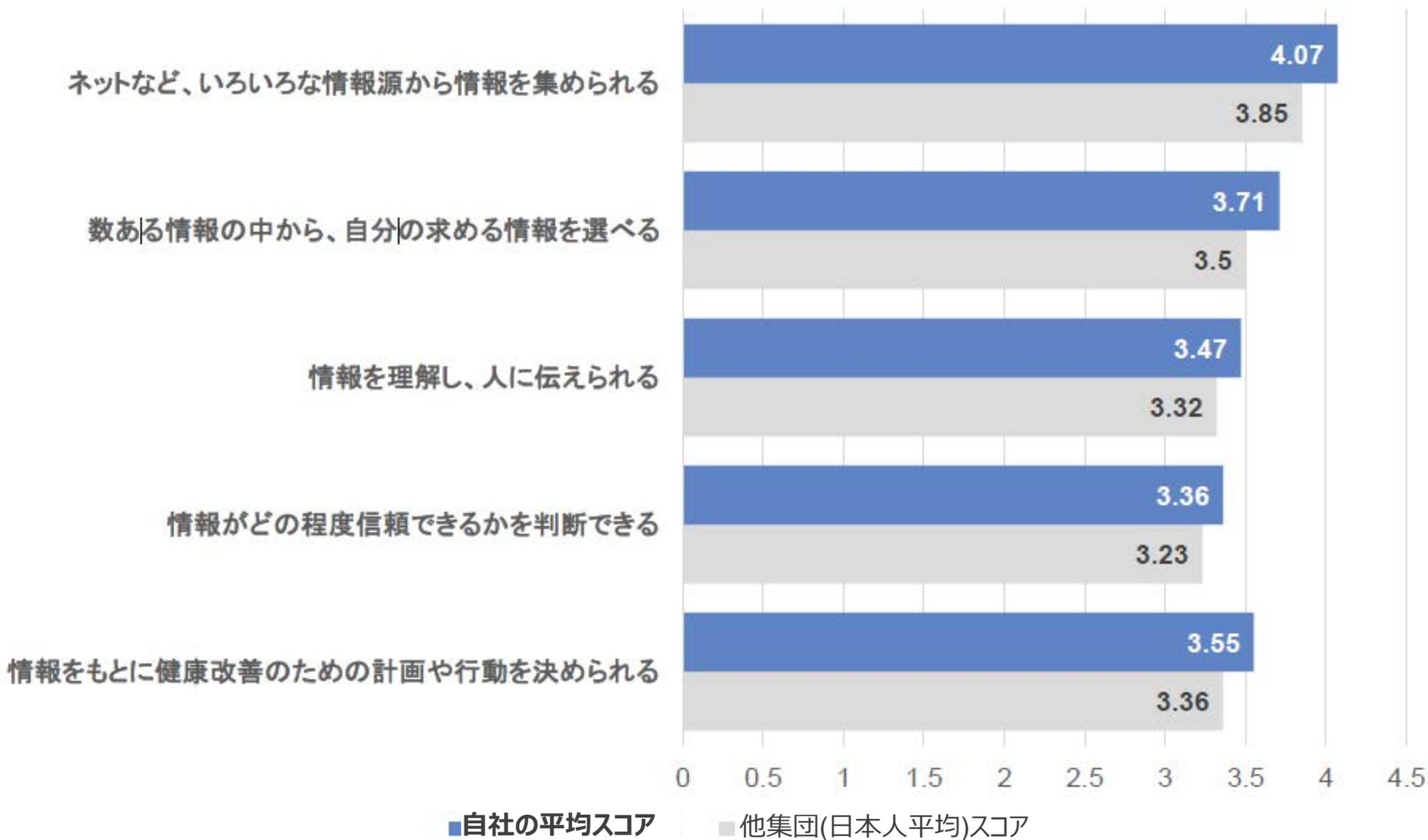
アブセンティズムによる生産性損失割合 : 0.69% → 0.59% (今年)			欠勤者割合 (1日以上)	欠勤者あたり 平均欠勤日数 (日)
新型コロナウイルス (後遺症も含む)	0.14%	(-0.14pt)	9.0%	4.1
生理痛	0.08%	(0.01pt)	6.8%	2.9
風邪	0.06%	(0.02pt)	8.2%	2.0
腰痛	0.05%	(0.04pt)	3.9%	3.4
生理不順、PMS (月経前症候群)	0.04%	(0.01pt)	2.4%	4.5
その他 (不調の状態、疾患名を具体的に)	0.04%	(0pt)	4.0%	2.3
片頭痛、慢性頭痛	0.03%	(-0.01pt)	3.4%	2.5
疲労、けん怠感	0.03%	(0pt)	3.2%	2.1
うつ病、メンタル不調	0.02%	(-0.01pt)	3.4%	1.8
胃腸の病気、下痢、便秘	0.02%	(-0.01pt)	3.1%	2.0
首・肩のこり	0.02%	(-0.01pt)	1.3%	3.6
のどの痛み・不快感 (扁桃炎など)	0.02%	(0pt)	1.5%	2.6

※ 0.02%以上の項目

# 損失額合計（新型コロナを除いた場合）

年	損失	損失割合 (年間)	1人あたりの生産 性損失額（円）
2021	プレゼンティズム	19.39%	1,324,986
	アブセンティズム	0.42%	28,700
2022	プレゼンティズム	17.51%	1,298,039
	アブセンティズム	0.33%	24,222
2023	プレゼンティズム	19.16%	1,378,648
	アブセンティズム	0.40%	28,992
2024	プレゼンティズム	19.27%	1,275,737
	アブセンティズム	0.45%	29,447

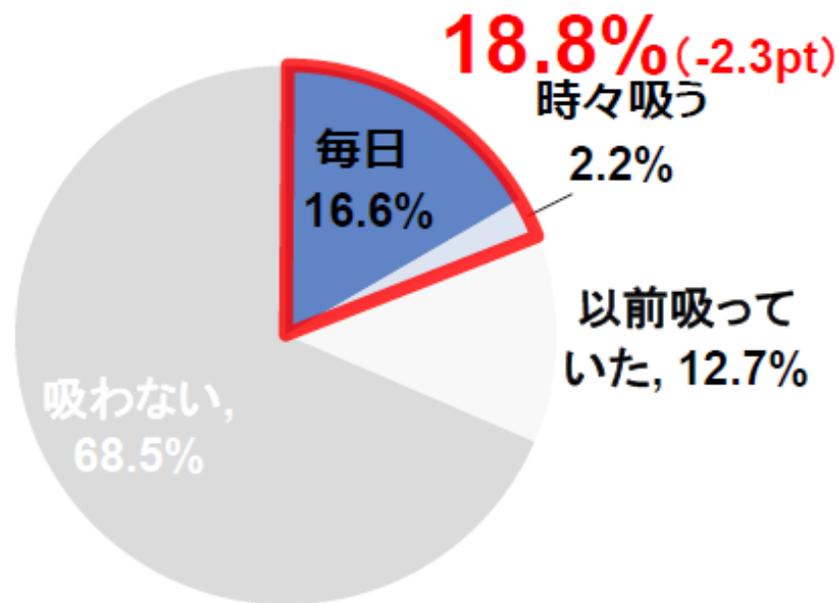
# ヘルスリテラシー（CCHL）



# ワークエンゲージメント (UWES)



## 喫煙者割合



## 平均本数/日

**16.0本** (-1.2本)

Q16 : 本数	n数	%
1日に40本以上	1	0.4%
1日に30本以上	8	3.3%
1日に20本以上	60	24.4%
1日に10本以上	125	50.8%
1日に1本以上	46	18.7%
それ以下の頻度	6	2.4%

Q17 : 禁煙意向	n数	%	vs2023
1年以内に禁煙をしたいと思っている	30	12.2%	2.2pt
5年以内に禁煙をしたいと思っている	17	6.9%	1.9pt
時期はわからないが、禁煙をしたいと思っている	75	30.5%	-4.3pt
禁煙はしたくないが、本数を減らしたいと思っている	64	26.0%	-1.1pt
禁煙や本数を減らしたいとは思わない	60	24.4%	1.3pt

- ① 首肩のこりや腰痛、眼の疲れなど身体的な愁訴、季節性・通年性のアレルギー性鼻炎にて問題を感じている従業員が多い
- ② 不眠や寝不足など睡眠に関する問題を感じている従業員が一定数存在する
- ③ 女性特有の症状に対して問題を感じている女性従業員の割合が高い  
(補足) 福利厚生医療検索サービスでも検索数が最も多い事項は、月経や更年期・妊娠の症状についてである
- ④ 喫煙率は-2.3Ptの減少。本数も減少し禁煙以降も高まっている
- ⑤ プレゼンティーズムは横ばい(-0.01pt)  
アブセンティーズムは(-0.1Pt)やや減少

**➡ 課題改善に対応するための健康施策を実施**

# 2023年度実施 健康セミナー一覧

実施月	タイトル	受講人数(人)
2023年4月	脳血管疾患セミナー	80
2023年5月	ウォーキングイベント	202
2023年7月	男性育休管理職セミナー	93
2023年7月	禁煙セミナー	145
2023年9月	介護基礎知識セミナー	99
2023年10月	ストレッチセミナー	80
2023年12月	メンタルヘルスセミナー	305
2023年12月	健診読み解きセミナー	247
2024年1月	女性の健康課題を知るセミナー	153
2024年2月～3月	花粉症対策（動画配信）	39
2024年3月	がん基礎知識セミナー	59

★上記他、健保組合共同の「お口ケアチャレンジ」の実施（グループ各社参加可能）  
従業員も視聴できるイベント、虫媒介感染症予防等の啓発セミナー「アース虫ケアセミナー」・  
オーラルケアの重要性を専門家と探る「モンダミンセミナー」等を実施

# 2023年度実施 衛生講話 一覧



実施月	タイトル
2023年4月	感染症対策
2023年5月	熱中症対策
2023年6月	防虫剤・除湿剤を使った上手な衣類ケア
2023年7月	健康診断について
2023年8月	上手な掃除の仕方について
2023年9月	4Sについて
2023年11月	睡眠について
2023年12月	飲酒について
2024年1月	4Sについて
2024年2月	産業保健の基礎
2024年3月	日常生活における食品衛生

# その他の取り組み

- **健康診断・特定保健指導の就業時間認定**
- **人間ドック・生活習慣病健診の就業時間認定(2024new!)**
- **特別休暇**：「更年期障害(男女問わず)治療での受診」「不妊治療での受診」「月経関連の不調」「家族の介護」などで使用できるファミリーライフサポート休暇（特別休暇/年5日）を設定
- **被扶養者の健康アプローチ**：受診や受診勧奨用リーフレットを作成し、適宜案内配信
- **禁煙施策強化**：敷地内喫煙所完全撤廃(2024new!)、就業時間中完全禁煙
- **朝食欠食対策**：社内カフェに管理栄養士監修の軽食ランチを設置
- **健康アプリ**：社用スマートフォンに、「月経管理アプリ」「睡眠管理アプリ」「栄養管理アプリ」「運動管理アプリ」を配信。セルフケア行動の支援をおこなう
- **育児、介護、傷病との両立支援の強化**：ファミリーライフサポート休暇の取得要件設定や、実態調査、各種セミナーの実施

# 健康保険組合、グループ各社との連携 (2023年度実績)



## 【健保組合、大塚グループ各社】

- ・グループ健康管理推進委員会、健康管理担当者会議、医療職会議の参画
- ・グループダイバーシティ担当者会議の参画
- ・健康保険組合企画イベント、セミナーへの参加や共同実施（コラボヘルス）

## 【アースグループ各社】

- ・グループ総務人事会議にて健康経営の取り組み情報の共有
- ・ウォーキングイベントにグループ対抗で参加
- ・社内でのインフルエンザ予防接種実施時、接種機会提供

今後も健康保険組合、グループ各社と連携し取り組みを推進してまいります。

# サプライチェーンにおいて取引先の取り組みの支援 (2023年度実績)



## 【健康経営のノウハウ提供や共同実施等】

重要なパートナーである仕入先と共に、健康経営を推進。

趣旨に賛同頂いた4社と、以下の取り組みを実施。

### ＜実施事項＞

・当社ではオフィスワークや在宅勤務での「座りすぎによる健康リスク」（※1日に座っている時間が4時間未満の成人と比べ、1日に11時間以上座っている人は死亡リスクが40%高まること）へ着目し、「オフィスでもできる、ストレッチセミナー」を実施している。各社の健康施策にお役立ていただけるよう共同開催を行った。また当日参加ができない企業へは動画を提供。当社提供の動画を用いてストレッチセミナーを開催いただいた。

・取引先へ来訪し、健康経営についての講義やミーティングを実施。推進のメリットや実施ノウハウの提供を行った。

- ・株式会社ダイゾー
- ・株式会社丸一
- ・ミナトパックス株式会社
- ・東洋製罐株式会社

地球を、キモチいい家に。



**EARTH**  
Act For Life